

証券コード：9412

株式会社スカパーＪＳＡＴホールディングス



2025年3月期 通期 決算説明会

2025年4月25日

将来の見通しに関する記述

本説明資料に掲載されている予想、戦略、経営方針、目標等のうち、歴史的事実でないものは、将来の見通しに関する記述であり、現在入手可能な情報にもとづく経営者の前提、計画、期待、判断などを基礎としています。

これらの将来の見通しに関する記述は、様々なリスクや不確定要因の影響を受けるため、現実の結果が想定から著しく異なる可能性があります。このようなリスクや不確定要因のうち、現在想定しうる主要なものには、以下のようなものが含まれます。なお、リスクや不確定要因はこれらに限られるものではありませんのでご留意下さい。

事業全般

- 事業投資等に関するリスク
- 事業上の法的規制に関するリスク
- 個人情報及び重要情報の流出や取扱い及びサイバーセキュリティに関するリスク
- 大規模災害、新型感染症等による事業継続に関するリスク

宇宙事業

- 衛星通信市場における競争力低下のリスク
- 通信衛星調達に関するリスク
- 通信衛星の運用に関するリスク

メディア事業

- 有料多チャンネル事業の事業性低下に関するリスク
- 不正視聴に関するリスク
- 顧客管理システムに関するリスク

2024年度当期純利益は、過去最高の191億円

2025年度は、2030年以降の飛躍に向けての変革元年
積極的な投資を実行し、収益基盤強化、事業の進化、新規領域の開拓
を軸に当期純利益予想 210億円

2025年度より配当方針を変更し、株主還元を拡充
配当性向は50%以上、1株当たり年間配当金は38円を下限とする

2025年3月期 通期連結業績概要

連結業績概況

メディア事業の視聴料収入等の減少はあったものの、
宇宙事業のスペースインテリジェンス事業の増収もあり、
営業利益、当期純利益ともに上場来最高益を更新

(億円)	2023年度	2024年度	増減 (増減率)	2024年度通期 業績予想 (修正後)	通期予想 達成率
営業収益	1,219	1,237	+18 (+1.5%)	1,240	99.8%
営業利益	265	275	+9 (+3.6%)	280	98.2%
親会社株主に帰属する 当期純利益	177	191	+14 (+7.7%)	190	100.6%
EBITDA*	480	474	△6 (△1.3%)	476	99.5%

*EBITDA = 純利益 + 税金費用 + 減価償却費 + のれん償却費 + 支払利息

- スペースインテリジェンス事業と開拓領域の収益増加が4 K放送終了等による放送トラポン減収幅をカバー
- 北米での基盤強化への費用投下や開拓領域への先行費用を計上するもセグメント利益は152億円にて着地

(億円)	2023年度	2024年度	増減	2024年度 通期業績予想 (修正後)	通期予想 達成率	増減要因
営業収益*	647	647	△0	650	99.5%	(営業収益) スペースインテリジェンス事業+14 (画像販売増加等) グローバル・モバイル分野+8 開拓領域+5 放送トラポン収入△28
営業費用	420	427	+8	-	-	(営業費用) 北米子会社費用 (Horizons-4事業開始等に伴う営業費用) +6 Orbital Lasers費用+6 減価償却費△6
営業利益*	228	220	△8	228	96.4%	(その他) 持分法投資損益△5 投資有価証券売却益+4
セグメント利益**	155	152	△3	151	100.8%	

*セグメント間の内部取引を含む

**セグメント利益は「純利益」ベースの数値

- 光アライアンス、その他放送外コンテンツの収益増が視聴料収入等の減少幅を縮小
- オペレーションの効率化によりセグメント利益は予想通り44億円まで伸長

(億円)	2023年度	2024年度	増減	2024年度 通期業績予想 (修正後)	通期予想 達成率	増減要因
営業収益*	665	655	△10	655	100.0%	(営業収益) 視聴料・業務手数料・基本料収入△23 FTTH収入+3 放送外コンテンツ収入(アニメ、トークイベント等)+8
営業費用	621	592	△29	-	-	(営業費用) 減価償却費等△13、デジタルシフト△8 コンテンツ費△4 衛星回線料等△27 新規サービス関連費用(CTV、Web3等)+9
営業利益*	44	63	+19	61	102.7%	
セグメント利益**	25	44	+19	44	100.8%	(その他) 子会社株式売却益+3 前期における投資有価証券評価損の反動+9

*セグメント間の内部取引を含む

**セグメント利益は「純利益」ベースの数値

2025年度 連結業績予想

2030年以降の飛躍に向けて積極的に投資を実行し
収益基盤を強化、事業を進化、新規領域を開拓
あわせて株主還元も拡充

当期純利益210億円

700億円規模の投資

株主還元拡充

2025年度 事業の取り組み

■宇宙事業 ■メディア事業

収益基盤強化

- 次世代衛星投入を見据えた移動体向け・グローバル向け販売の拡充
- 主力商品への注力と優良顧客基盤の維持

事業の進化

- 低軌道衛星コンステの自社保有によるビジネスモデルの変革
- 光アライアンスのBtoBへの事業展開

新規領域の開拓

- SSA(宇宙状況把握)、光データリレー、宇宙ゴミ除去事業等の開拓
- アニメコンテンツIPビジネス、CTVサービス等への挑戦

収益基盤の強化と事業の進化の取り組みを通じて増収増益を目指す

(億円)	2024年度 実績	2025年度 予想	増減率
営業収益	1,237	1,276	+3.1%
営業利益	275	308	+12.0%
経常利益	273	315	+15.4%
親会社株主に 帰属する当期純利益	191	210	+9.9%
EBITDA *	474	480	+1.3%

* EBITDA = 純利益 + 税金費用 + 減価償却費 + のれん償却額 + 支払利息。

2025年度 セグメント別業績予想

宇宙事業

放送トラポン収入の減収等を移動体向け通信サービスの拡大等でカバーし、増収増益を目指す

メディア事業

主力商品への注力により放送事業収入の減少を抑え、スカパー東京メディアセンターを含むコスト構造の改革を断行、光アライアンス事業の拡大にて増益を目指す

2025年度セグメント別業績予想				
(億円)	宇宙事業	メディア事業	消去または 全社	連結合計
営業収益	700 (+53)	641 (△14)	△65 (△0)	1,276 (+39)
営業利益	233 (+13)	82 (+19)	△7 (+1)	308 (+33)
セグメント利益	160 (+8)	60 (+16)	△10 (△5)	210 (+19)
* 純利益ベース				

注：()内は対前年度比増減。

2025年度 投資計画

- 2030年度以降の飛躍に向け、700億円規模の投資を計画
- 2022～2030年度 累計3,000億円以上

累計**1,420**億円

2022～2030年度
3,000億円以上

2025年度 **700**億円

収益基盤強化
350億円

JSAT-31/32、Superbird-9
地上局設備、拠点拡張
放送設備

事業の進化
200億円

LEOコンステレーション
光アライアンス

新規領域の開拓
150億円

Space Compass
スタートアップ投資
CTV

収益基盤強化
1,800億円～

事業の進化
700億円～

新規領域の開拓
500億円～

2022年度～2024年度
720億円

2025年度 連結貸借対照表、連結キャッシュ・フロー見込

- 将来の成長に向けた積極的な投資により資金を収益性の高い事業資産に転換
- 自己資本の厚みを活かし、2026年度以降は、外部借入も含めた資金調達により投資を実行

連結貸借対照表

(億円)		2023年度 実績	2024年度 実績	2025年度 見込	増減
資産	宇宙事業	2,497	2,486	2,880	+394
	メディア事業	384	375	390	+15
	全社・調整	1,173	1,173	650	△523
	合計	4,054	4,034	3,920	△114
負債		1,334	1,192	960	△232
(内、有利子負債)		658	551	320	△232
純資産		2,720	2,842	2,960	+118

連結キャッシュ・フロー

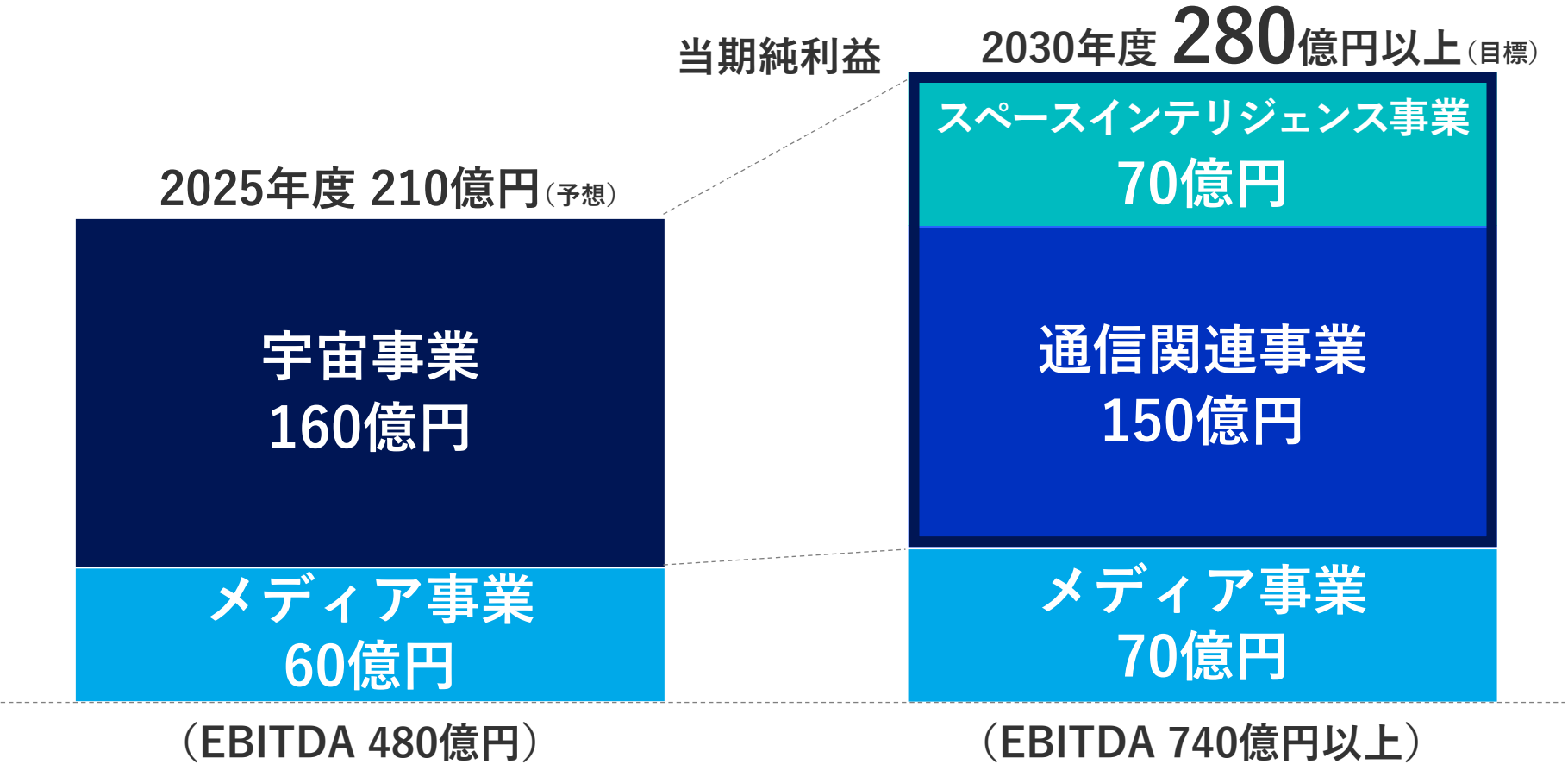
(億円)		2023年度 実績	2024年度 実績	2025年度 見込	増減
営業活動		424	424	470	+46
投資活動		△154	△258	△680	△422
フリー・ キャッシュフロー*		270	166	△210	△376
財務活動		△211	△168	△330	△163
現金及び現金同等物		1,143	1,145	610	△535

* 営業活動によるキャッシュフロー＋投資活動によるキャッシュフロー

2030年度 目指す姿

当期純利益280億円以上を目指す

- 宇宙事業はスペースインテリジェンス事業を成長ドライバーとし大幅増益
- メディア事業は放送・配信事業での収益基盤の強化に加え、光アライアンス事業での上乗せを図る



株主還元の拡充

- 成長投資に軸足を置きつつも株主還元を拡充
配当性向の引き上げに加えて、自己株式取得の機動的な発動

配当方針の変更

- ✓ 配当性向の引き上げ
- ✓ 一株当たり年間配当金下限引き上げ

現行配当方針

配当性向
30%以上

1株当たり
年間配当金
16円以上

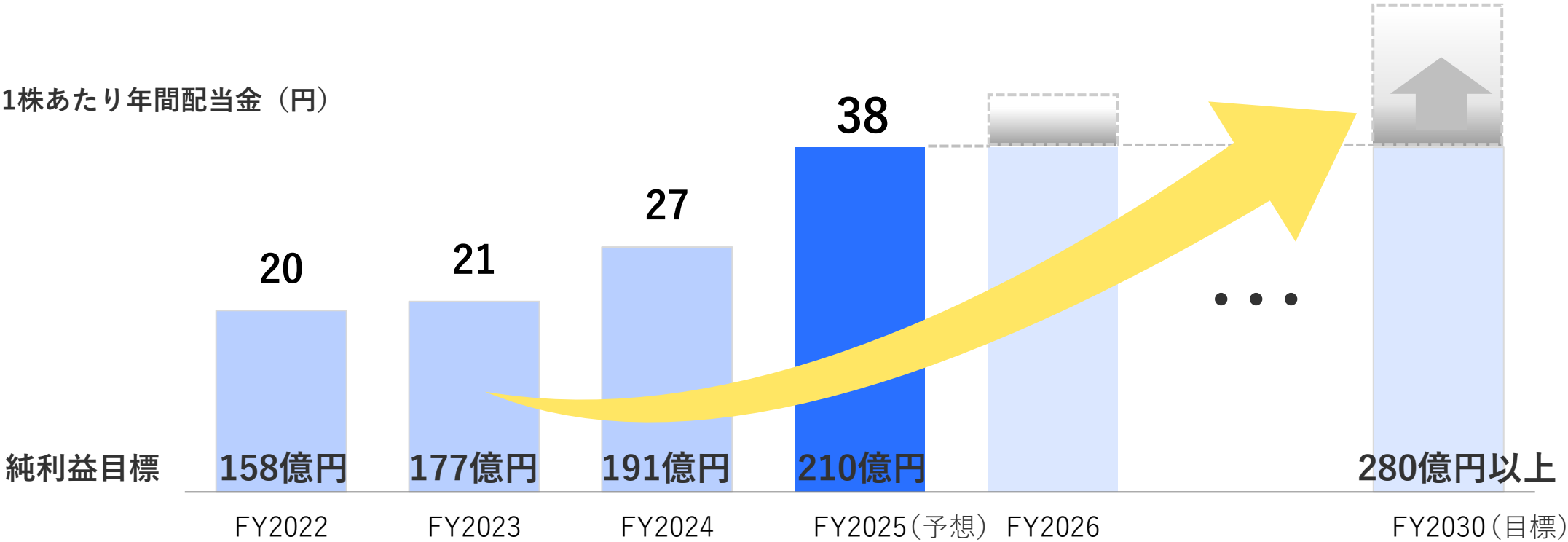
配当性向
50%以上

1株当たり
年間配当金
下限38円

2026年3月期より適用

株主還元の推移

2026年3月期 配当予想 1株当たり 年間 **38円** (11円増配)



配当金総額	58	60	77	108	108以上
自己株式取得額	—	50	—		
合計	58	110	77	108	108以上
2022年度以降累計	58	168	245	352	460以上※

>400億円

※2022～2026年度で株主還元400億円
(2022年4月28日公表)

企業価値向上への、株主視点を重視した一連の取り組み

成長投資

資金を収益性の高い資産へ

株主還元

配当性向50%以上
1株当たり年間38円を下限

資金調達

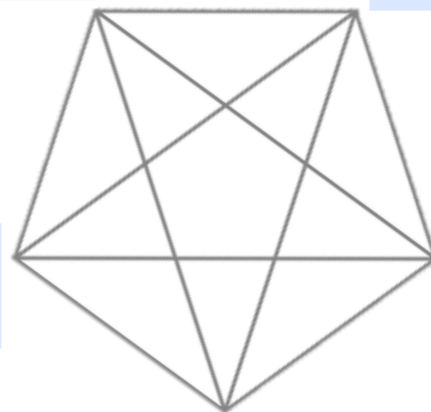
借入等による調達へ

役員報酬

譲渡制限付株式比率引き上げ

投資管理

ハードルレート（7%）遵守
*当社WACC 6~6.5%（想定）



宇宙事業

事業成長に向けたMulti-Orbitフリート戦略

- 静止軌道一本足からMulti-Orbitへ
- 衛星オペレーターから宇宙ソリューションプロバイダーへの転換



官需

民需

収益基盤強化

事業の進化

新規領域の開拓

安全保障向け
通信ネットワーク提供拡大

安全保障向け
衛星データの販売拡大

宇宙状況把握（SSA）

量子暗号鍵配送（QKD）

Universal NTN構築推進

地球観測事業
商材多角化・民間市場開拓

光データリレー

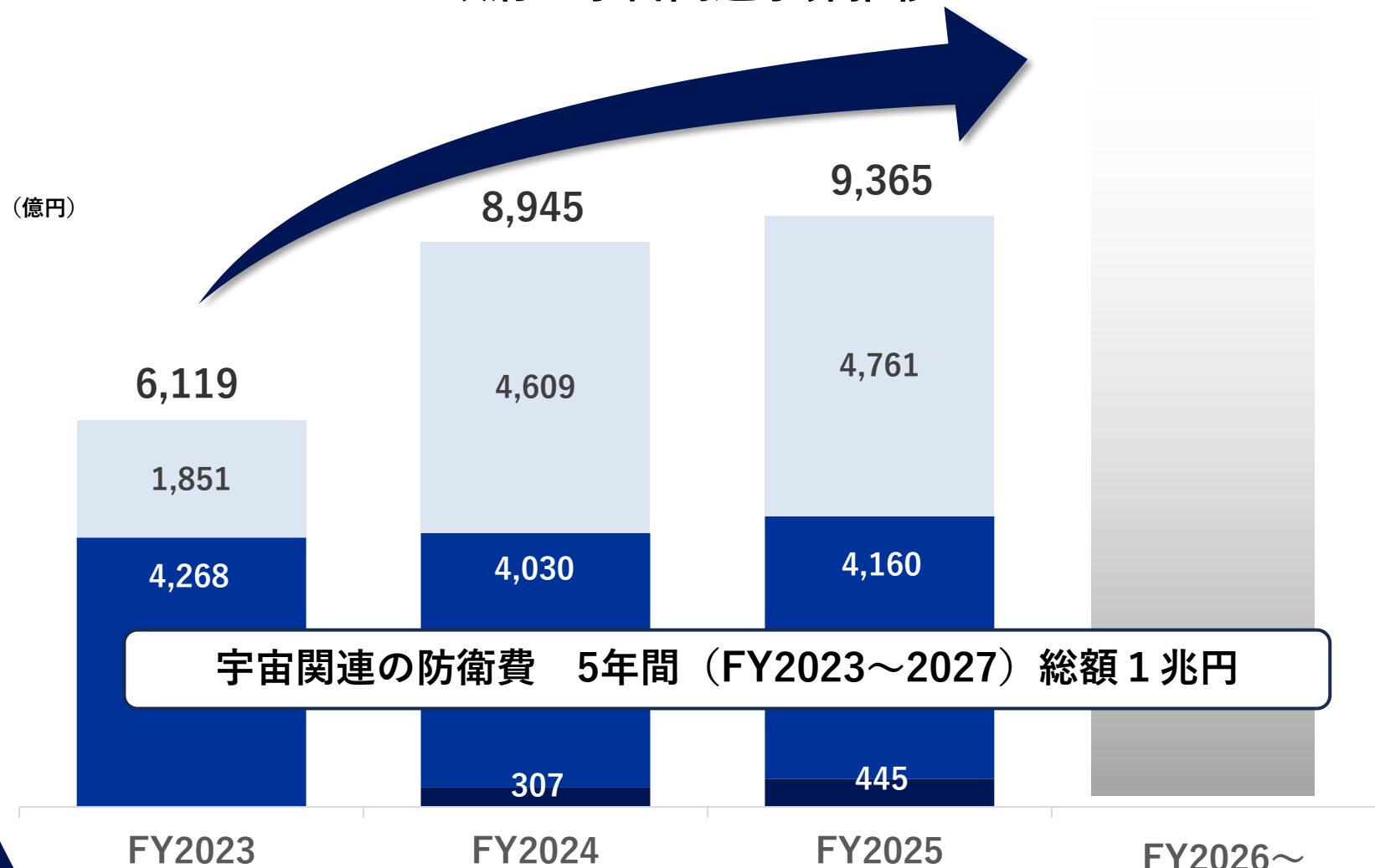
グローバル・モバイル分野強化

衛星運用受託
地上局サービス拡大

HAPS

宇宙関連予算への取り組み

政府の宇宙関連予算推移



安全保障領域
(国内・海外)

FY2024
収益
約100億円

FY2030
収益目標
約300億円

宇宙関連予算への取り組み（2025年度）

2025年度
宇宙関連予算
総額
9,365億円

防衛省 1,366億円

■ 次期防衛通信衛星等の整備（1,238億円）

通信関連事業

- ・ 衛星・地上機材の設計・製造

■ 無人アセット防衛能力（1,110億円）

通信関連事業

- ・ 滞空型UAVの取得
- ・ UAV（中域用）機能向上型の取得

■ 画像解析用データの取得（247億円）

スペースインテリジェンス事業

■ 衛星コンステレーションの構築（2,832億円）

スペースインテリジェンス事業

内閣府 394億円

通信関連事業

■ 準天頂衛星システムの開発・整備・運用(306億円)

文部科学省 3,668億円

通信関連事業

■ 宇宙基本計画に基づく宇宙分野の研究開発（1,516億円）

宇宙戦略基金

衛星量子暗号通信技術の開発・実証

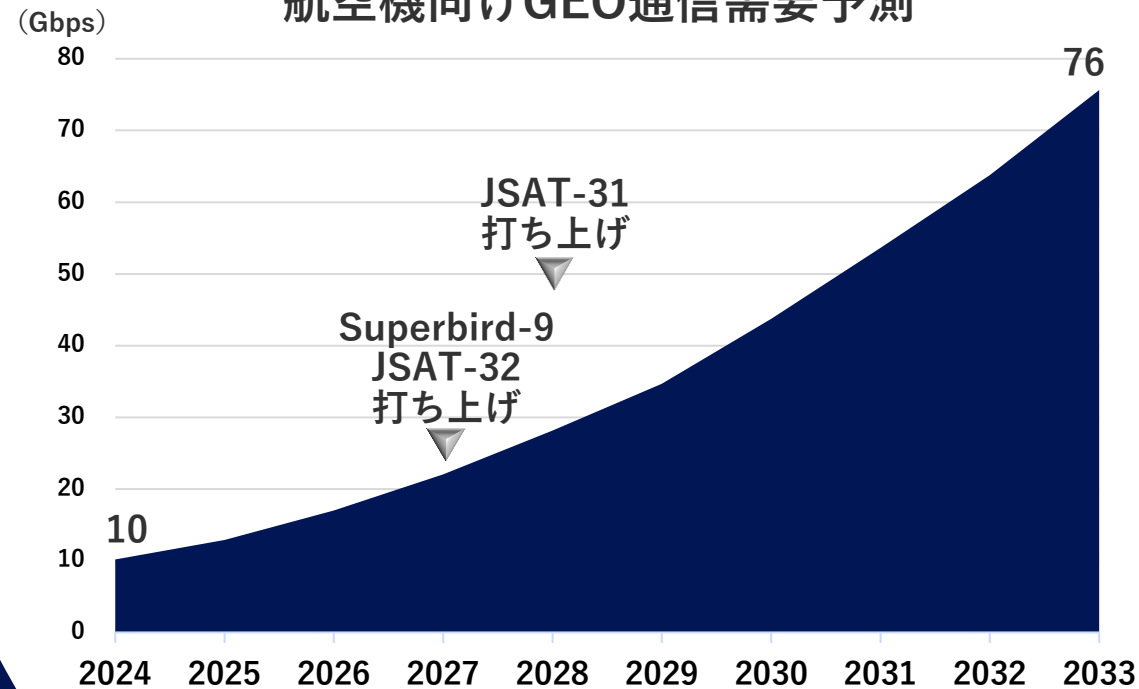
開拓領域

出典：内閣府・令和7年度当初予算案および令和6年度補正予算における宇宙関連予算について

防衛省・防衛力抜本的強化の進捗と予算、内閣府・令和7年度予算（案）の概要、文部科学省・令和7年度予算のポイント
宇宙関連予算総額及び各省庁内訳は令和7年度予算案および令和6年度補正予算額を記載、各予算項目の金額は令和7年度予算額を記載

- グローバル・アライアンス強化による販売力・供給力強化
- 成長市場の需要取り込みによる収益拡大

アジア・太平洋地域における航空機向けGEO通信需要予測



出典：Euroconsult Satellite connectivity and Video Market 2024

- Universal NTN構築推進による新ユースケース開拓と新たな収益源の確保



当社独自の解析技術を活かし
競争力のあるソリューションを提供



- 盛り土監視
- 土地造成の抽出
- 道路上の変状把握
- 樹高予測



- 土砂崩れ検知
- 浸水領域抽出
- 河道植生の分析
- 山火事の状況把握
- 松枯れ領域の抽出



- 水田の利用状況把握
- 作物の生育状況モニタリング
- 藻場の生育モニタリング



- 航行中の船舶の検出
- オイル流出の検出

スタートアップとの協業により
衛星データを活用した新ビジネスを共創

不動産



Penetratorと資本業務提携
不動産仲介データサービスの精度を向上



天地人と資本業務提携
上下水道の漏水リスクを見える化

天地人コンパス 宇宙水道局



宇宙統合コンピューティング・ネットワークの実現に向けて

防衛省と「静止軌道間光通信技術実証*」 契約締結

- SDA（宇宙領域把握）能力向上に貢献
- 光データリレーサービス実現に向けて加速

*SDA活動で取得した大容量のデータを伝送可能な衛星の光通信能力を獲得するため
GEO光データ中継衛星経由で光通信によるデータ伝送の実証を行うもの。
防衛省令和6年度予算の静止軌道間光データ中継実証（予算額：48億円）に該当。



静止軌道間光通信技術実証のイメージ

Space CompassとNTTドコモ 成層圏を飛行するHAPSを介したスマートフォンへのデータ通信実証に成功

- 2026年の商用化に向けた開発を推進
Beyond 5G時代の「超カバレッジ拡張」実現へ加速

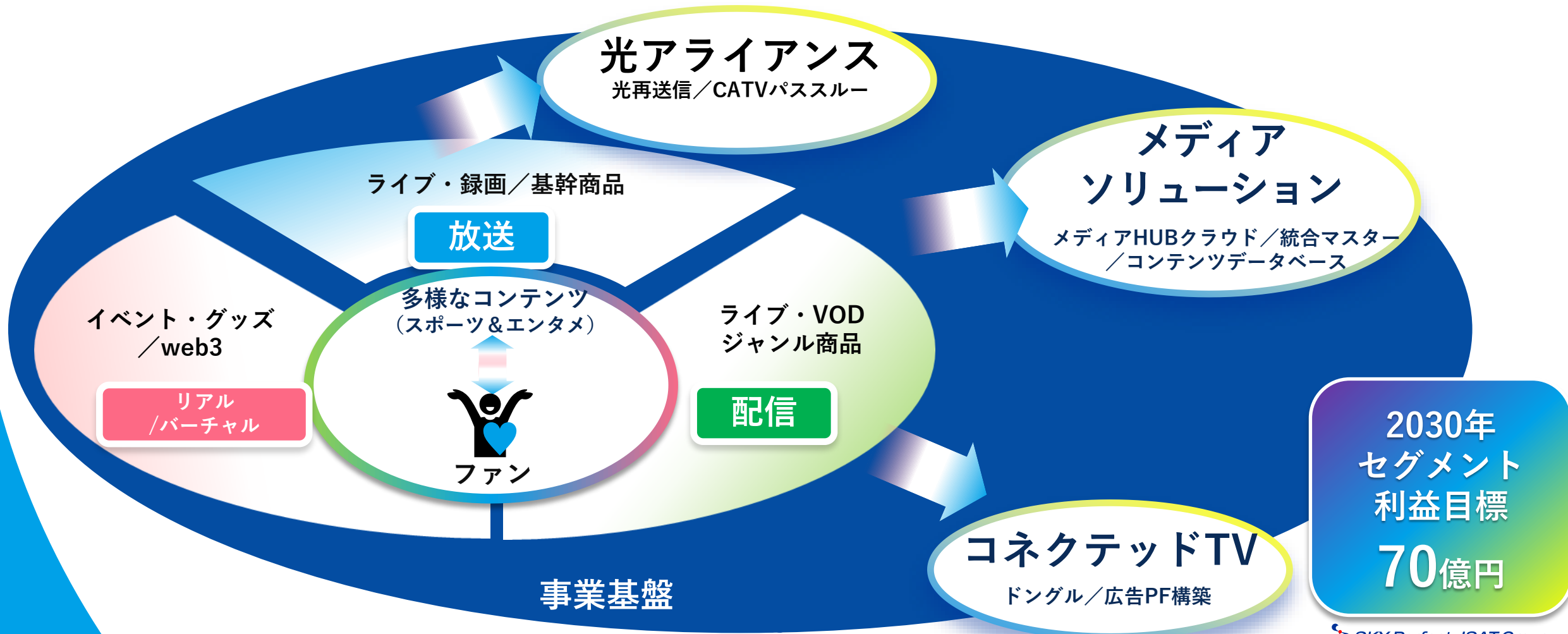


HAPS「Zephyr」着陸時の様子

メディア事業

メディア事業ビジョン

人と人、企業、社会をつなぐエンタメプラットフォームとして
「放送＋配信＋リアル/バーチャル」でファンの体験を拡張し
多様で創造性豊かな社会の実現に貢献する



収益基盤強化

放送・配信事業

メディアソリューション
事業

事業の進化

光アライアンス事業

新規領域の開拓

アニメコンテンツIP
ビジネスの推進

CTV領域でのサービス展開

Web3サービスの
コンテンツ開発

主力商品への注力による優良顧客基盤の維持

MEDIA

収益基盤強化

■スポーツコンテンツ：シーズン開幕が加入を牽引、顧客単価向上に貢献



<2025 FORMULA 1®>
放送も配信も、全戦オールセッション
完全生中継！



4,054円/月 (税込)



■基本プラン：高顧客単価・低解約率



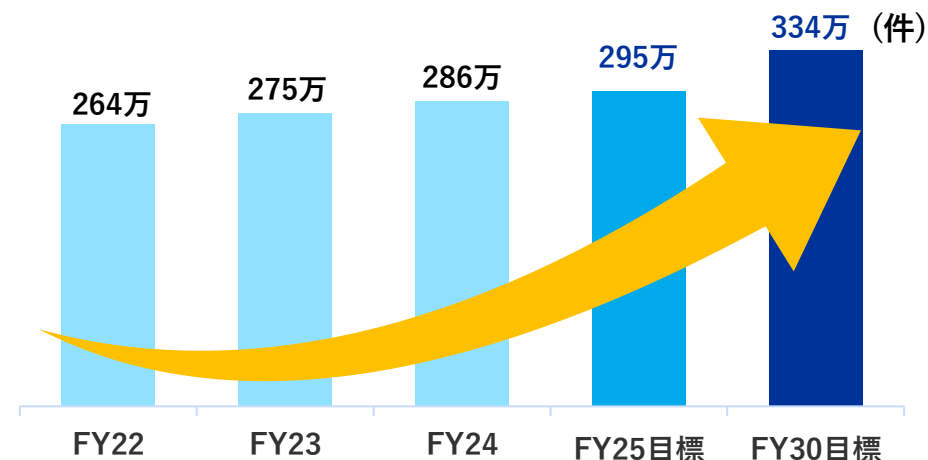
(11ジャンル、50ch)
3,960円/月 (税込)

■ 光再送信サービス

2030年 334万世帯目標

- ・ 大手携帯キャリア等との販促活動により、2025年度は295万件を目指す

接続世帯数推移



■ CATVパススルーサービス

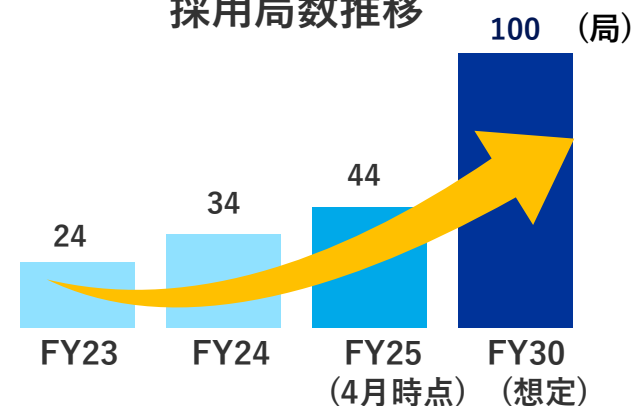
2030年 100局想定

- ・ 初の電力系通信事業者であり、テレビサービス加入世帯数70万世帯を誇る株式会社オプテージへサービス提供開始

株式会社オプテージ 概要

- ・ 関西電力グループ
- ・ 本社：大阪府大阪市
- ・ テレビサービス加入世帯数：約70万世帯
- ・ 提供開始：2025年4月16日

採用局数推移



■ スカパー・ピクチャーズは1期目から黒字達成

- ・ 2024年4月設立し、「チ。-地球の運動について-」をはじめとした出資作品を日本国内＋世界で配信
- ・ 設立1期目決算で黒字達成

■ 「フェルマーの料理」 2025年7月から放送予定

テレビ朝日系全国24局ネット“IMAnimation”枠
2025年7月より毎週土曜夜11時30分～放送予定

原作：小林有吾（講談社「月刊少年マガジン」連載）



©小林有吾・講談社／フェルマーの料理製作委員会

未知の大陸、生物、物質。
進化の歴史とは、未知との遭遇の歴史だ。
未知へひとたび飛びこめば、
想像をこえた景色が広がっている。
好奇心にあふれた仲間が集まる。
努力を、努力と忘れてしまう場所。
私たちが魅入られた未知は、宇宙。
誰かを笑顔にする、誰かの安全を守る、
新たな価値を見出してきた。
そしてまだ1%も探れていない。
残りの99%、
この地上から宇宙へ広がる空間で、
世界が驚くビジネスを。
見たこともないエンターテインメントを。
人工衛星たちと共に。

未知を、 価値に。

宇宙実業社
スカパーJSAT

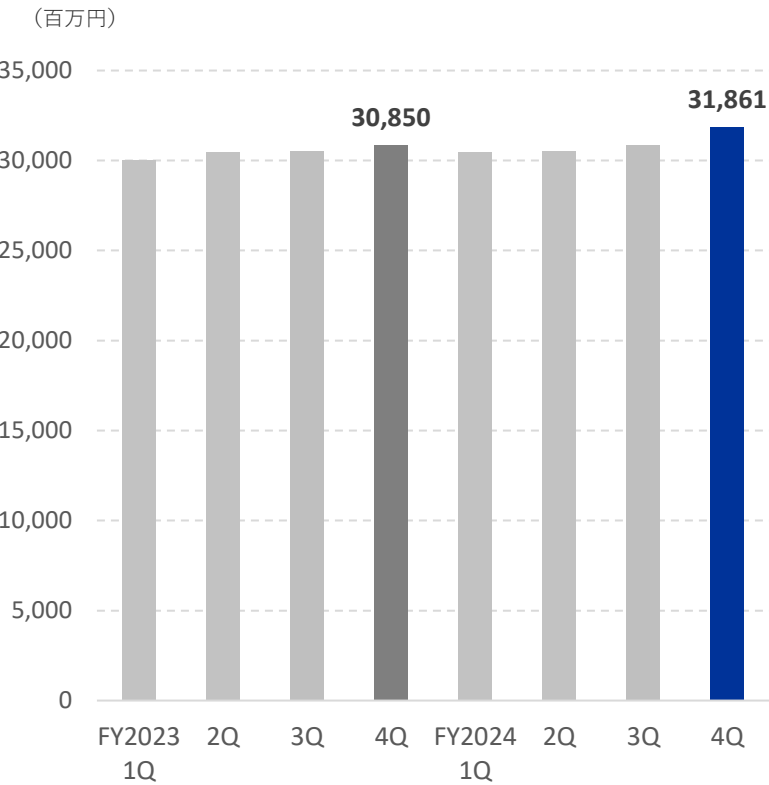
参考資料

各事業の内容については
「スカパー」SATガイド」をご覧ください

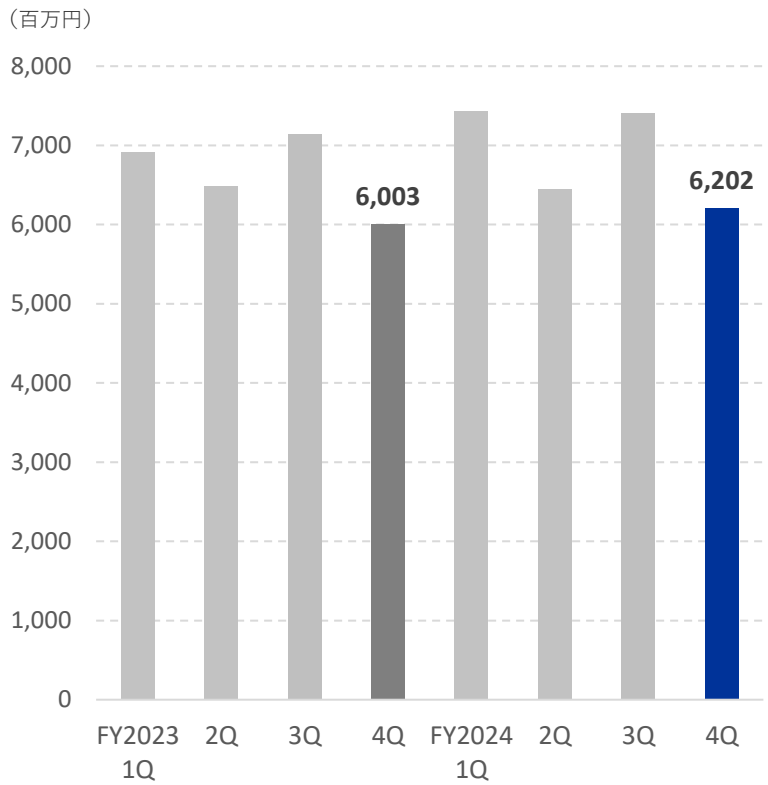
https://www.skyperfectjsat.space/ir/files/pdf/373d308becf34287ac6baecc80a566bd_4.pdf

連結業績推移 (FY2023 1Q - FY2024 4Q)

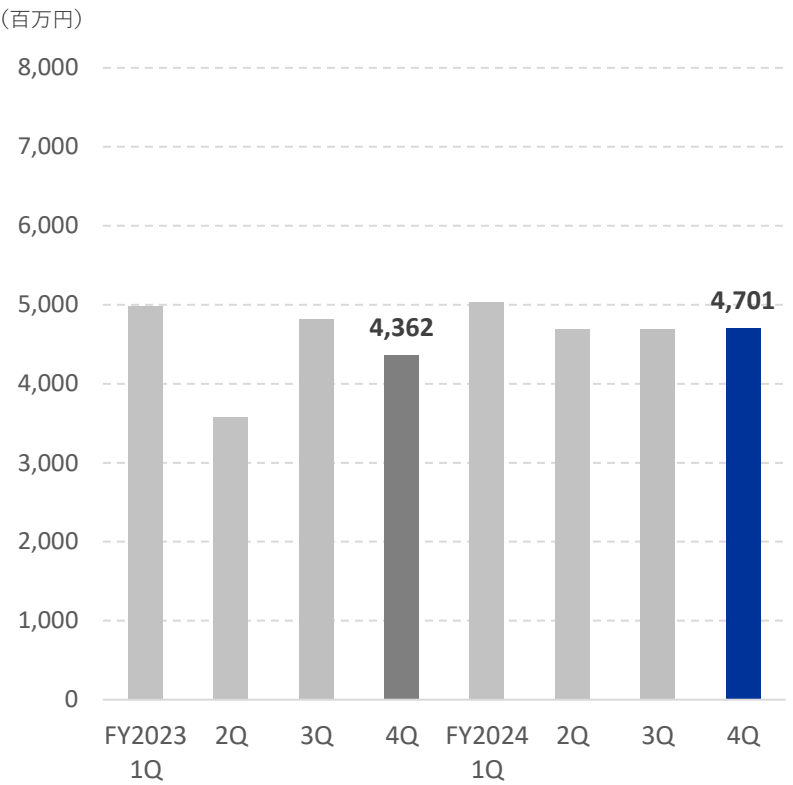
営業収益



営業利益



連結純利益



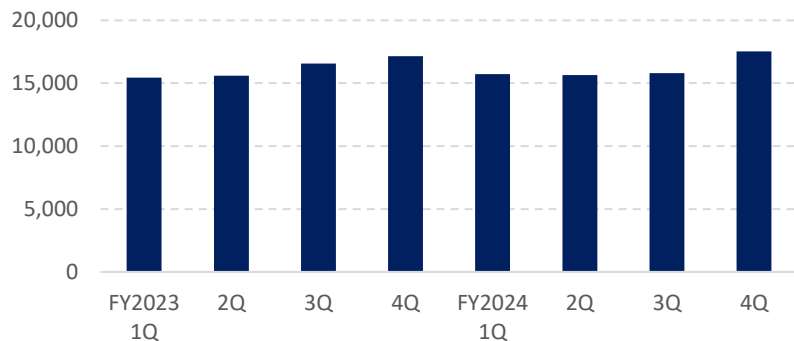
セグメント別四半期業績 (FY2023 1Q - FY2024 4Q)

宇宙事業

* 各数値はセグメント間の内部取引を含む。

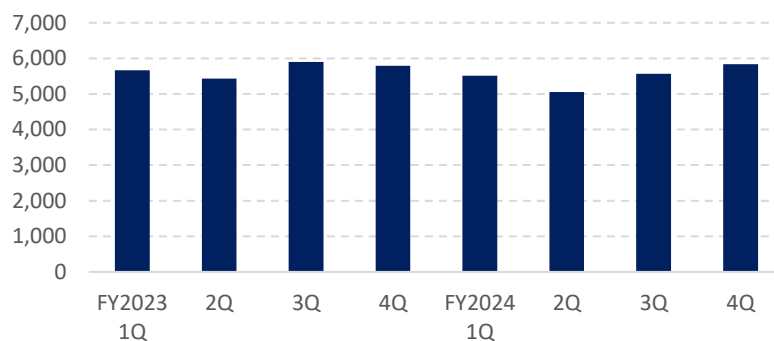
営業収益*

(百万円)



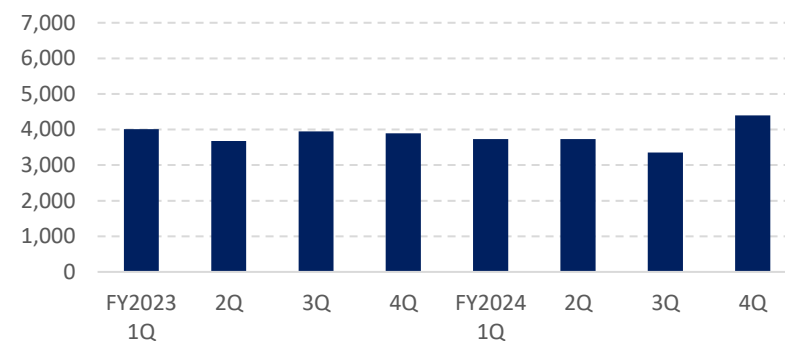
営業利益

(百万円)



セグメント利益

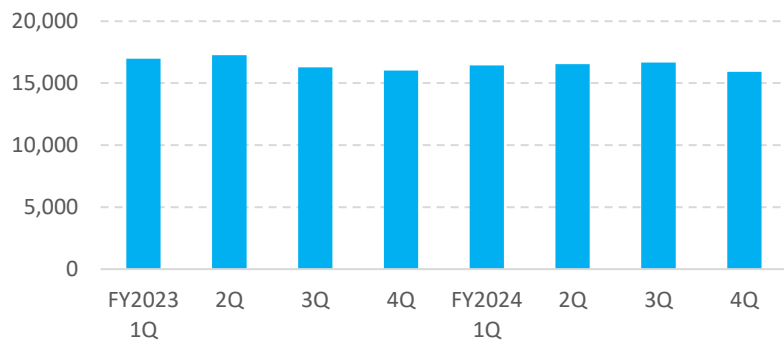
(百万円)



メディア事業

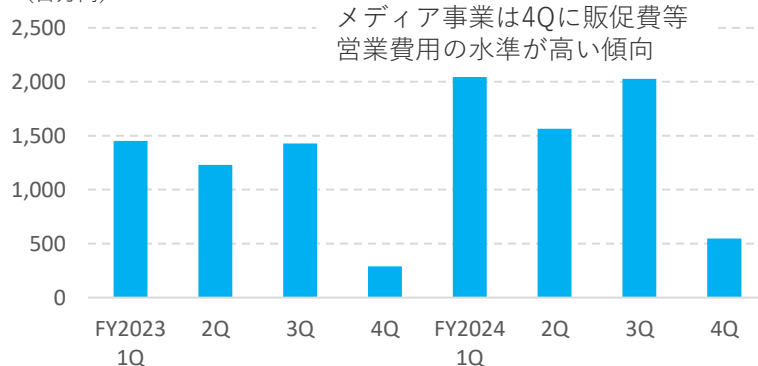
営業収益*

(百万円)



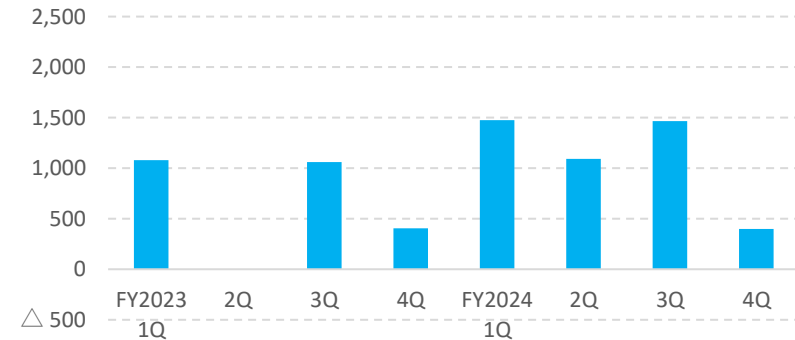
営業利益

(百万円)



セグメント利益

(百万円)



セグメント別四半期業績 (FY2023 1Q - FY2024 4Q)

(百万円)	FY2023					FY2024				
	1Q	2Q	3Q	4Q	通期	1Q	2Q	3Q	4Q	通期
営業収益	30,009	30,488	30,523	30,850	121,872	30,490	30,525	30,844	31,861	123,721
宇宙事業	15,445	15,593	16,563	17,146	64,749	15,725	15,639	15,795	17,540	64,701
メディア事業	16,965	17,265	16,284	16,013	66,528	16,431	16,524	16,653	15,904	65,514
消去又は全社	△2,401	△2,370	△2,324	△2,309	△9,405	△1,666	△1,639	△1,605	△1,583	△6,494
営業利益	6,919	6,482	7,140	6,003	26,545	7,433	6,442	7,409	6,202	27,488
宇宙事業	5,670	5,433	5,902	5,792	22,798	5,516	5,057	5,569	5,835	21,978
メディア事業	1,453	1,231	1,428	290	4,402	2,124	1,564	2,029	548	6,265
消去又は全社	△203	△181	△190	△78	△655	△207	△179	△188	△180	△755
セグメント利益 (親会社株主に帰属する 四半期(当期)純利益)	4,982	3,573	4,820	4,362	17,739	5,028	4,687	4,688	4,701	19,106
宇宙事業	4,008	3,680	3,949	3,893	15,532	3,728	3,736	3,352	4,399	15,218
メディア事業	1,081	△1	1,061	406	2,548	1,475	1,093	1,466	398	4,433
消去又は全社	△107	△105	△190	62	△341	△175	△142	△129	△97	△545

セグメント別前年同期比較

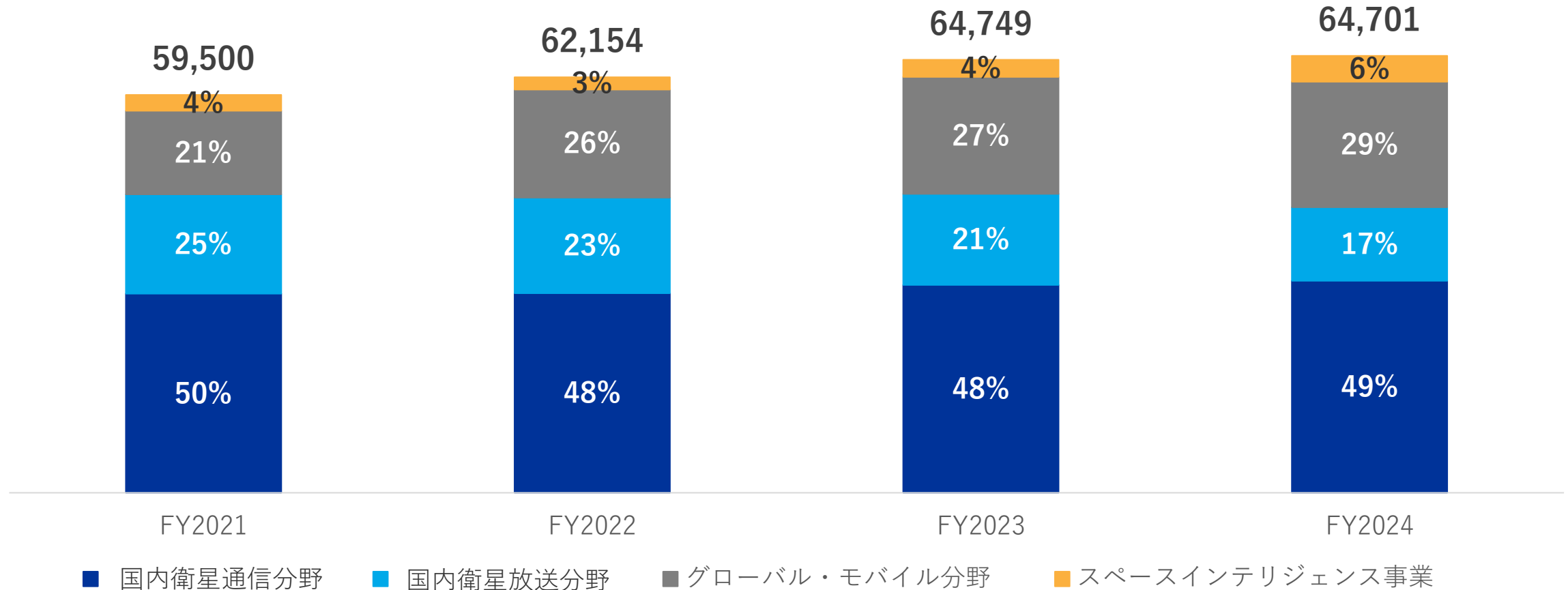
(億円)		FY2024 4Q (前年同期比)		FY2024 4Q通期 (前年同期比)		主な増減要因		4Q	Q累計
宇宙事業	営業収益*	175	(＋4)	647	(△0)	スペースインテリジェンス事業 画像販売増加等		＋3	＋14
						グローバル・モバイル		＋0	＋8
						放送トラポン収入		△7	△28
	営業費用	117	(＋4)	427	(＋8)	北米子会社費用（Horizons-4事業開始等に伴う営業費用）		△0	＋6
						Orbital Lasers費用		＋4	＋6
						減価償却費		△5	△6
	営業利益*	58	(＋0)	220	(△8)				
セグメント利益**	44	(＋5)	152	(△3)	（その他）持分法投資損益		＋0	△5	
メディア事業	営業収益*	159	(△1)	655	(△10)	視聴料・業務手数料・基本料収入		△6	△23
						FTTH収入		＋1	＋3
						放送外コンテンツ収入（アニメ、トークイベント等）		＋3	＋8
	営業費用	154	(△4)	592	(△29)	デジタルシフト、減価償却費等		△7	△21
						コンテンツ費		△0	△4
						衛星回線料等		△8	△27
						新規サービス関連費用（CTV、Web3等）		＋3	＋9
営業利益*	5	(＋3)	63	(＋19)					
セグメント利益**	4	(△0)	44	(＋19)	（その他）前年2Qにおける投資有価証券評価損の反動		-	＋8	

*セグメント間の内部取引を含む

**セグメント利益は「純利益」ベースの数値

宇宙事業 営業収益構成比

(百万円)



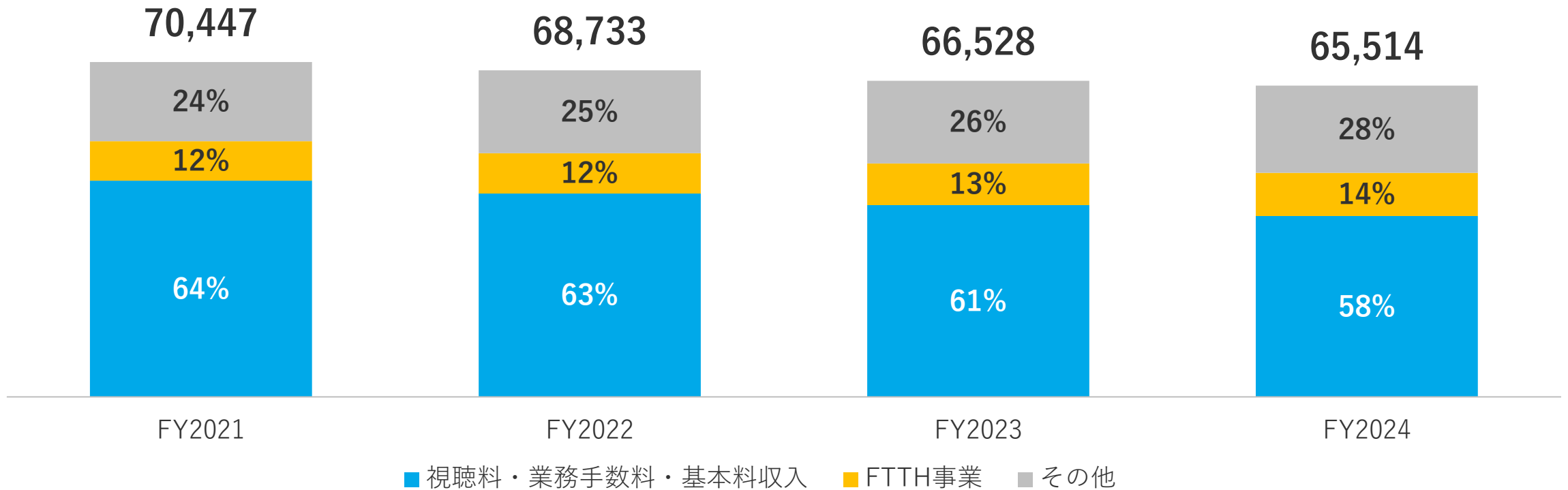
※2021年度から収益認識に関する会計基準等を適用

※2021年度の構成比は、画像販売収入の一部を国内からスペースインテリジェンス事業に組み替えて再計算

※2024年度より「新規事業領域」の名称を「スペースインテリジェンス事業」に変更

メディア事業 営業収益構成比

(百万円)



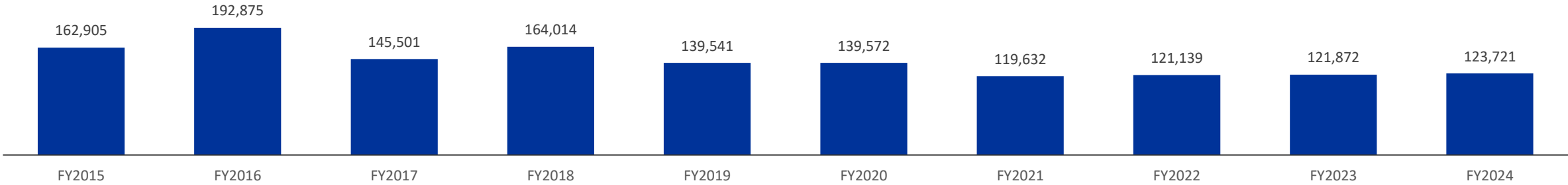
※2021年度から収益認識に関する会計基準等を適用

10年連結業績データ (FY2015 - FY2024)

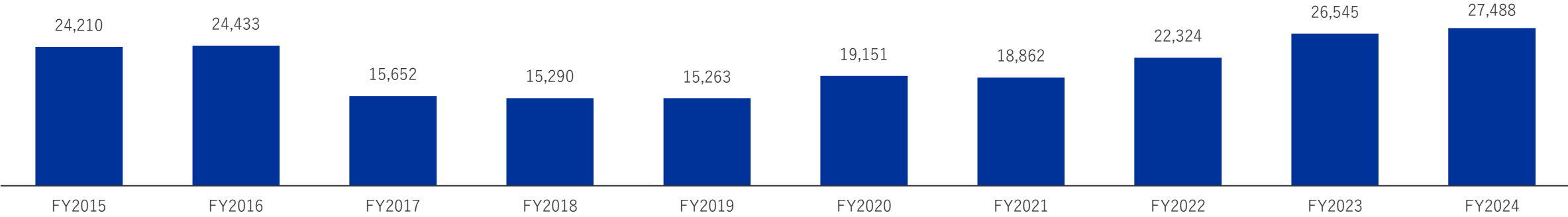
営業収益※

※2021年度から収益認識に関する会計基準等を適用

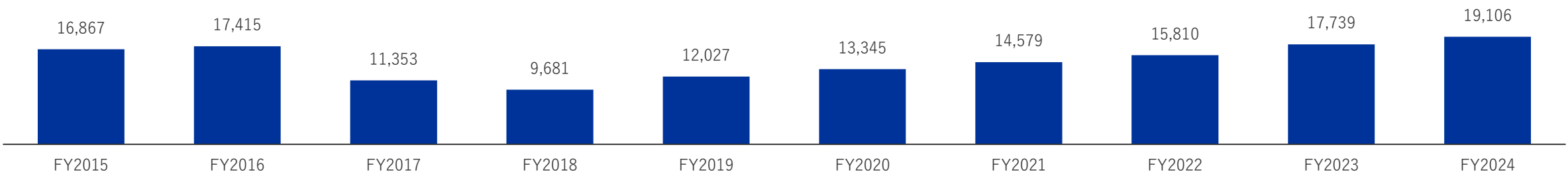
(百万円)



営業利益



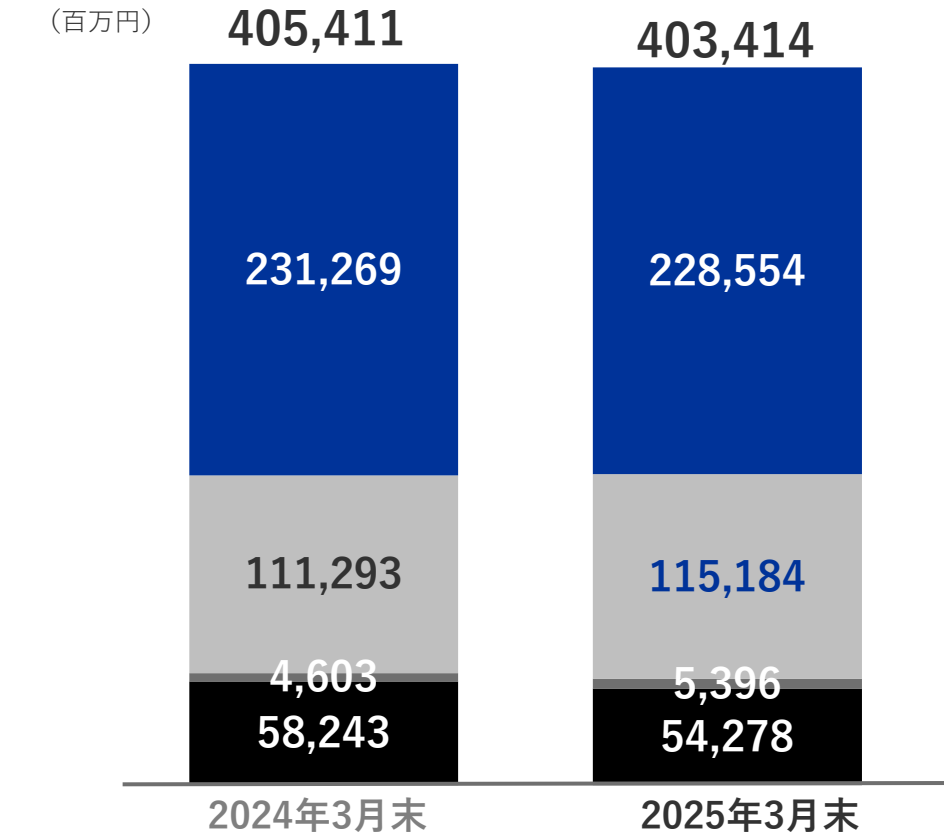
親会社株主に帰属する当期純利益



2016年度及び2018年度に防衛省向け通信衛星売却の影響を含む

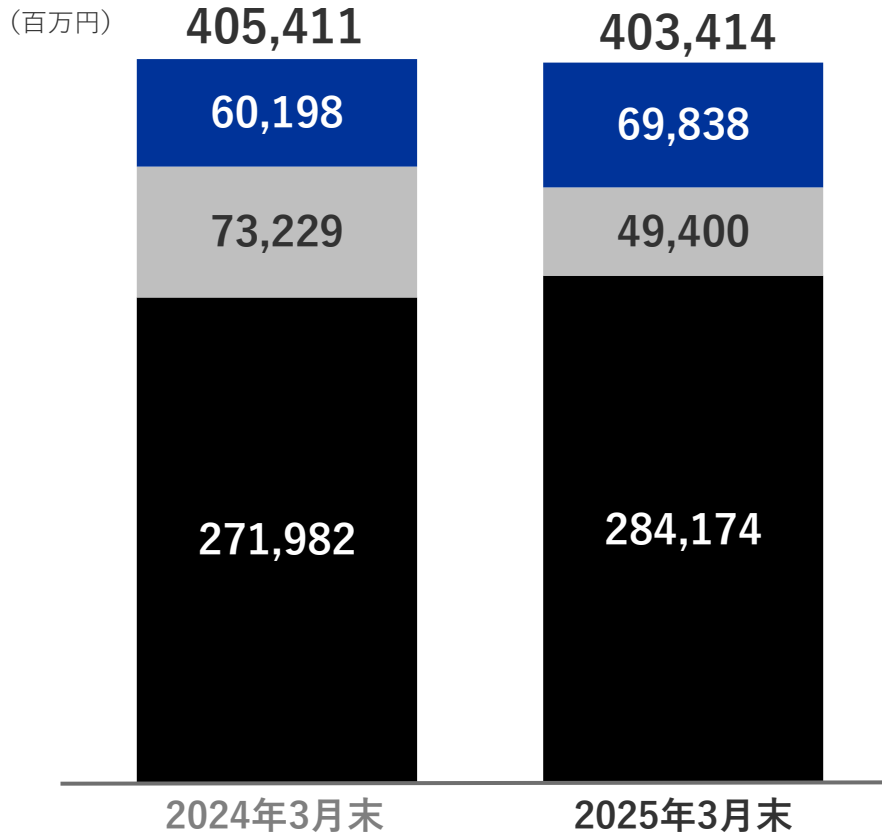
連結貸借対照表

資 産



負債・純資産

自己資本比率： 66.7% ➡ 69.8%



流動資産 有形固定資産 無形固定資産 投資その他資産 流動負債 固定負債 純資産

2025年度 投資計画

(億円)

	2024年度 実績	2025年度 見込	差異
① 設備投資	244	550	+306
内訳： 宇宙事業	192	500	+308
メディア事業	50	50	+0
その他	2	0	△2
② 事業投資	76	150	+74
① + ② 投資合計	320	700	+380

2025年度 減価償却費見込

(億円)

	2024年度 実績	2025年度 見込	差異
減価償却費	183	155	△28
内訳： 宇宙事業	124	112	△12
メディア事業	57	43	△13
その他	2	0	△2

連結キャッシュ・フロー

(百万円)

	2023年度	2024年度
営業活動によるキャッシュ・フロー	42,404	42,375
投資活動によるキャッシュ・フロー	△15,385	△25,776
フリー・キャッシュフロー (*1)	27,018	16,599
財務活動によるキャッシュ・フロー	△21,098	△16,743
現金及び現金同等物の期末残高(a)	114,321	114,516
有利子負債期末残高 (*2) (b)	65,809	55,151
純有利子負債期末残高 (b)－(a)	△48,512	△59,364

*1. 営業活動によるキャッシュフロー＋投資活動によるキャッシュフロー

*2. 借入金＋無担保社債

子会社業績

		(百万円)				
		SJC	SPET	SPBC	JII	JMC
事業内容		放送プラットフォーム、 衛星通信	衛星基幹放送業務、衛 星一般放送業務等	チャンネル運営事業	北米・アジア太平洋 での衛星回線販売事 業	移動体衛星通信サービ ス事業
保有割合 (%)		100.0	100.0	100.0	100.0	53.3
営業収益	FY2023 4Q	114,184	12,841	1,062	6,572	5,272
	FY2024 4Q	111,935	11,903	983	7,363	5,962
営業利益	FY2023 4Q	23,028	130	231	2,305	952
	FY2024 4Q	23,046	1,255	68	2,448	1,054
経常利益	FY2023 4Q	24,081	135	231	2,310	1,165
	FY2024 4Q	24,611	1,383	75	2,316	1,044

SJC：スカパーJSAT株式会社
SPET：株式会社スカパー・エンターテイメント
SPBC：株式会社スカパー・ブロードキャスティング

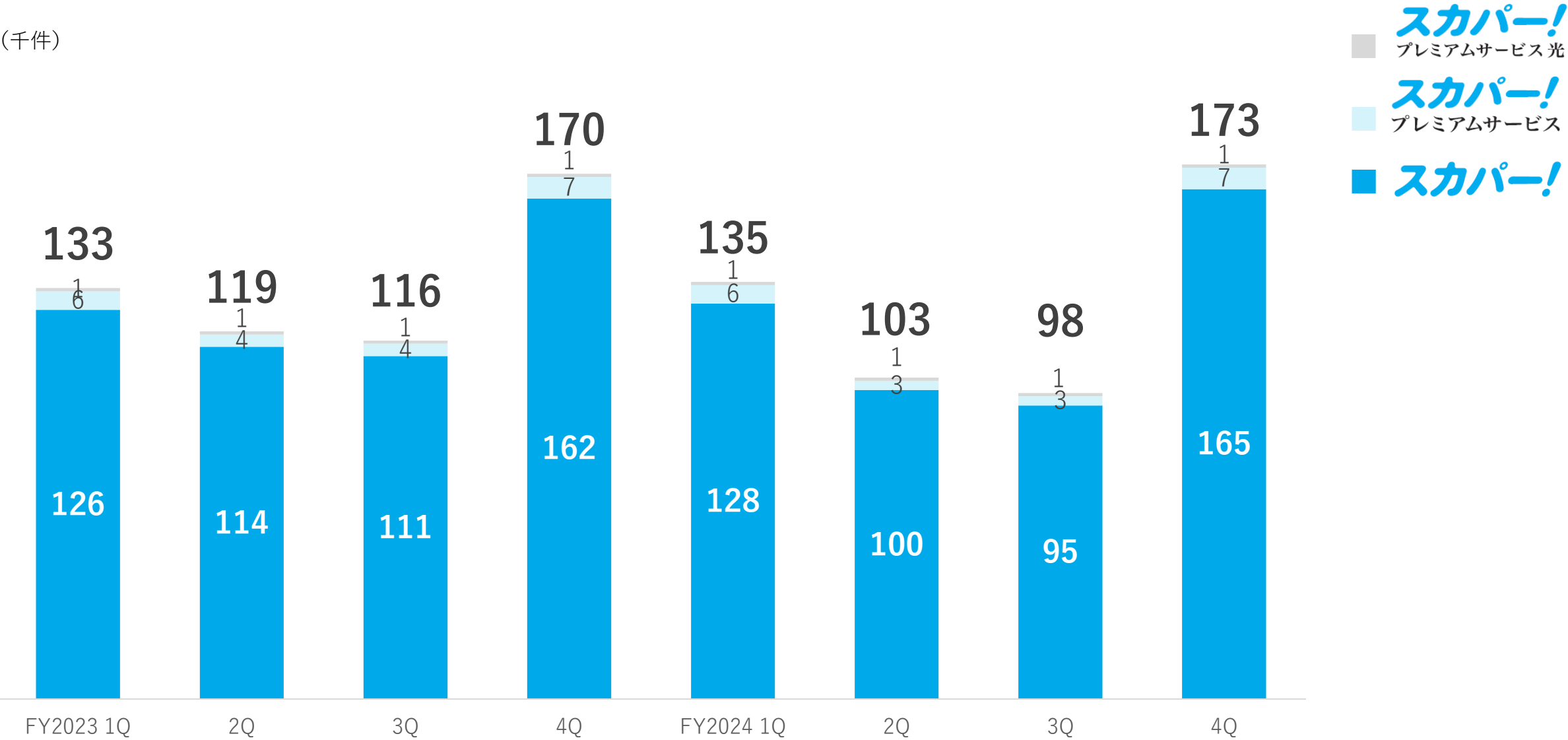
JII：JSAT International Inc.
JMC：JSAT MOBILE Communications株式会社

主要指標（メディア事業）

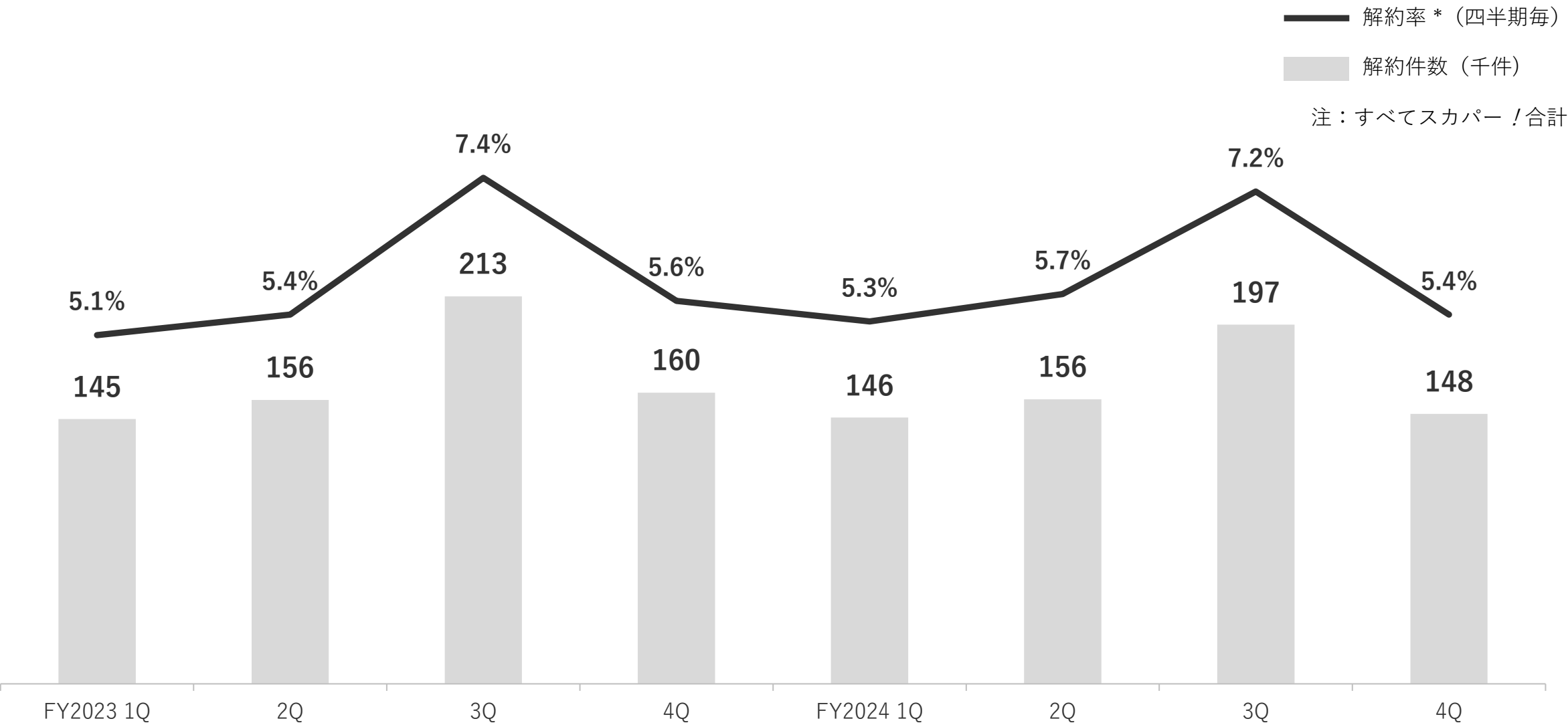
	2023年度	2024年度	2025年度 加入目標
新規（IC数：万件）	53.9	50.9	48.9
純増数（IC数：万件）	△13.5	△13.8	△12.9
（スカパー！）	（△7.0）	（△8.0）	（△7.2）
（スカパー！プレミアムサービス）	（△6.1）	（△5.5）	（△5.3）
（スカパー！プレミアムサービス光）	（△0.4）	（△0.3）	（△0.4）
累計加入件数（IC数：万件）	274.0	260.2	247.3
累計契約者数（契約者数：万件）	213.4	201.0	188.7
光再送信サービス接続世帯数（万件）	274.7	286.1	295.5
契約者月額支払単価（円）			
スカパー！	3,342	3,380	-
スカパー！プレミアムサービス	3,492	3,500	
スカパー！プレミアムサービス光	4,991	4,947	

新規加入件数の推移（IC数）

(千件)

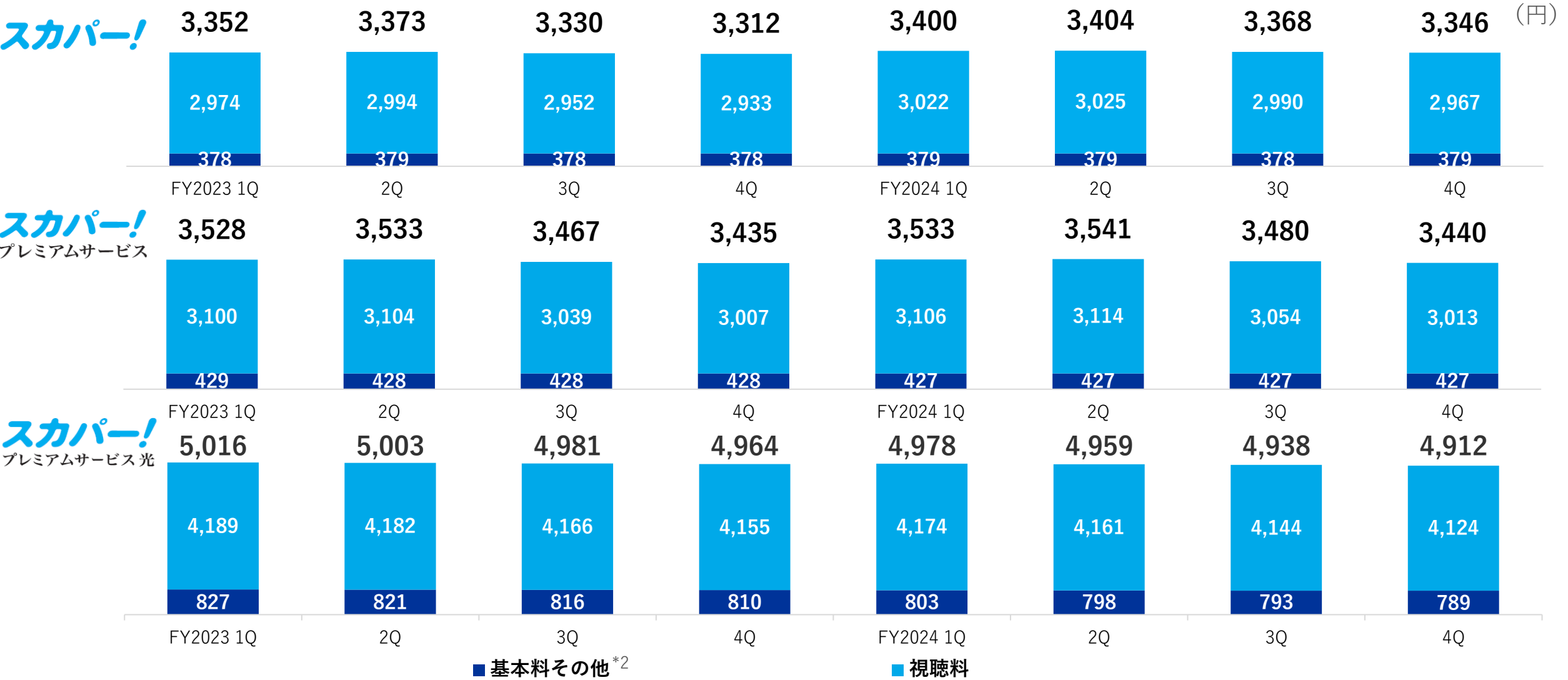


解約率の推移（IC数）



* 各四半期の解約件数合計を前年度末の累計加入件数で除した率を表示しております。

契約者支払単価^{*1}



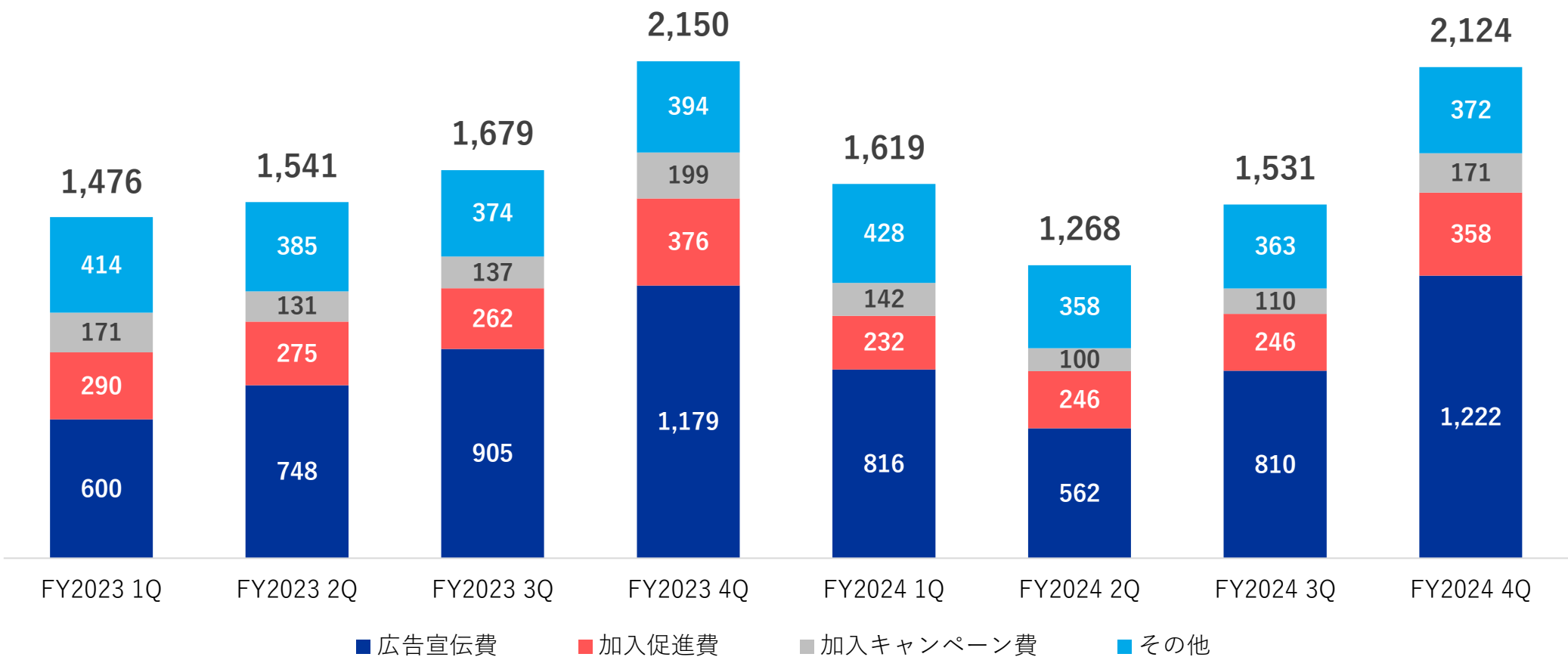
^{*1} 契約者が支払う月額視聴料等の平均単価。月額単価は「契約者」単位で算出しております。

契約者が支払う視聴料のうち、スカパー！では約30%を業務手数料、スカパー！プレミアムサービス、およびスカパー！プレミアムサービス光では、番組供給料を控除した約50%を視聴料収入として収益認識しております。

^{*2} 基本料及びセットトップボックスレンタル料

顧客獲得費用総額（SAC）

（百万円）



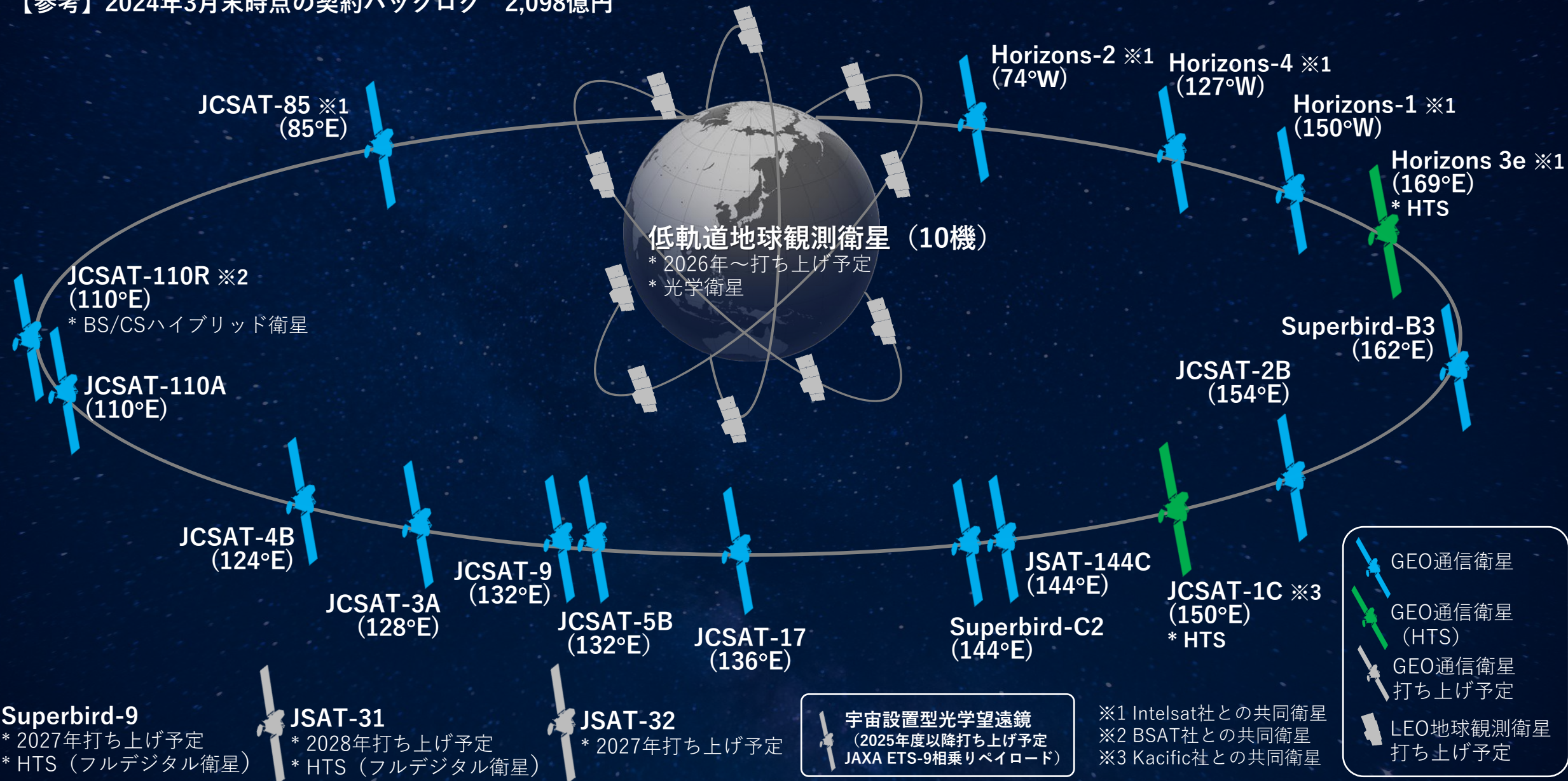
- 広告宣伝費：各種媒体での広告宣伝費用
- 加入促進費：スカパー！加入促進のための費用(パンフレットや会場販促)、販売インセンティブ
- 加入キャンペーン費：新規加入キャンペーン費用(アンテナサポート等)
- その他：加入獲得にかかるカスタマーセンター運営費用等

衛星フリート

(2025年3月末時点)

北米上空からインド洋上空まで 計17機 のGEO通信衛星を保有

【参考】2024年3月末時点の契約バックログ 2,098億円



保有衛星：静止軌道衛星（GEO）17機

衛星		軌道位置	衛星バス	打ち上げ年月日（JST）	打ち上げロケット	主要なカバーエリア・搭載ビーム	主な利用用途
Horizons-1	※1	西経150度	Boeing 601HP	2003年10月1日	Zenit-3SL（Sea Launch）	Ku: 北太平洋、北米	通信
JCSAT-9		東経132度	Lockheed A2100AX	2006年4月13日	Zenit-3SL（Sea Launch）	Ku: ー C: ー	通信
JCSAT-3A		東経128度	Lockheed A2100AX	2006年8月12日	Ariane 5（Arianespace）	Ku: 日本、アジア C: アジア、ハワイ、ロシア	放送
Horizons-2	※1	西経74度	Orbital STAR2	2007年12月22日	Ariane 5（Arianespace）	Ku: 北米	通信
Superbird-C2		東経144度	MELCO DS2000	2008年8月15日	Ariane 5（Arianespace）	Ku: 日本、アジア、可動ビーム	通信
JCSAT-5B		東経132度	Lockheed A2100AX	2009年8月22日	Ariane 5（Arianespace）	Ku：日本 C：アジア、ハワイ、ロシア東部	通信
JCSAT-85	※1	東経85度	Orbital STAR2	2009年12月1日	Zenit-3SL（Sea Launch）	Ku: West IOR, East IOR	通信
JCSAT-110R	※2	東経110度	Lockheed A2100AX	2011年8月7日	Ariane 5（Arianespace）	Ku: 日本	放送
JCSAT-4B		東経124度	Lockheed A2100AX	2012年5月16日	Ariane 5（Arianespace）	Ku: 日本、東南アジア、2つの可動ビーム	放送
JCSAT-2B		東経154度	SSL1300	2016年5月6日	Falcon 9（SpaceX）	Ku: 日本、アジア、パシフィック C: ロシア、アジア、オセアニア、グローバル	通信
JSAT-144C		東経144度	SSL1300	2016年8月14日	Falcon 9（SpaceX）	Ku: 日本	通信
JCSAT-110A		東経110度	SSL1300	2016年12月22日	Ariane 5（Arianespace）	Ku: 日本、インド洋、オセアニア	放送
Superbird-B3		東経162度	MELCO DS2000	2018年4月6日	Ariane 5（Arianespace）	Ku: 日本、可動ビーム	通信
Horizons 3e	(HTS) ※1	東経169度	Boeing 702MP	2018年9月26日	Ariane 5（Arianespace）	Ku: アジア、パシフィック C: ゲートウェイビーム	通信
JCSAT-1C	(HTS) ※3	東経150度	Boeing 702MP	2019年12月17日	Falcon 9（SpaceX）	Ku: アジア、パシフィック、ロシア、HTS Ka: HTS Gateway	通信
JCSAT-17		東経136度	LM2100	2020年2月19日	Ariane 5（Arianespace）		通信
Horizons-4	※1	西経127度	Maxar 1300	2023年8月3日	Falcon 9（SpaceX）	Ku: 北米、太平洋	通信

※1 Intelsat社との共同衛星／※2 BSAT社との共同衛星／※3 Kacific社との共同衛星

直近の主なニュースリリース

日付	タイトル（クリックで該当リリースにリンク）
2025年04月24日	株式会社Space Compassの防衛省「静止軌道間光通信技術実証」契約締結について
2025年04月15日	オプテージ、スカパーJSATが提供する「多チャンネル連携サービス」の採用を決定 ～新たな方式による多チャンネルサービスの提供を開始～
2025年04月14日	観測衛星データのリアルタイム活用へ ― マイクロソフトと軌道上AI技術実証を実施
2025年04月08日	ケーブルテレビ事業者様向け多チャンネル連携サービスの 新規導入局（決定）のお知らせ （2025年4月公表）
2025年04月02日	2025年3月末現在 加入件数について
2025年04月02日	JAXA発スタートアップ「Penetrator(ペネトレーター)」への出資に関するお知らせ

直近の主なニュースリリース

日付	タイトル（クリックで該当リリースにリンク）
2025年03月25日	Space Compassと欧州宇宙機関ESAが衛星間光通信ネットワークの軌道上共同実証の検討に関する覚書を締結
2025年03月17日	スカパーJ S A T、"SATELLITE CRAYON PROJECT" 第3弾「湖のクレヨン」発売衛星画像を活用し、地球の「湖」の色彩を12色のクレヨンで再現
2025年03月13日	スカパーJ S A T発スタートアップ Orbital Lasers、経済産業省が推進する「J-Startup」認定企業に選出
2025年03月12日	スカパーJ S A T、「健康経営優良法人2025（大規模法人部門）」に認定
2025年03月10日	通信衛星 JSAT-32 の調達契約の締結について
2025年03月07日	スカパーJ S A T、エデュケーションサイト「SPACE PEDIA」にて次世代型フルデジタル通信衛星「Superbird-9」のペーパークラフトを公開
2025年03月06日	斜面・地盤やインフラの変状を可視化する「LIANA®」2025年3月6日より東京都・大阪府・宮城県周辺域を対象に体験版の提供を開始 ～SAR衛星データを活用して予防保全の意思決定を迅速化～
2025年03月06日	「スカパー！」サービスの一時停止について（復旧）
2025年03月05日	組織変更及び人事異動に関するお知らせ
2025年03月05日	子会社の組織変更及び人事異動に関するお知らせ
2025年03月05日	JCSAT-110A衛星の運用について（復旧）
2025年03月04日	JCSAT-110A衛星の運用について
2025年03月04日	2025年2月末現在 加入件数について
2025年03月03日	ケニア上空の高度約20kmの成層圏を飛行するHAPSを介したスマートフォンへのデータ通信実証に成功

Space for your Smile

不安が「安心」にかわる社会へ
不便が「快適」にかわる生活へ
好きが「大好き」にかわる人生へ

Space for your Smile には、私たちの目指す世界が描かれています。

宇宙も、空も、海も、陸も、家族が集うリビングも、ひとりの自由な場所も、

これらすべての Space が笑顔で満たされるように。

日常のちょっとした幸せから、まだ見ぬ未来の幸せまで、

ひとりひとりの明日がよりよい日になっていく、そんな世界を創りつづけます。

本資料に関するお問い合わせは、下記担当部までお願い致します。

株式会社スカパーＪＳＡＴホールディングス
広報IR部



TEL : 03-5571-1515、FAX : 03-5571-1760

E-Mail: ir@skyperfectjsat.co.jp

メール配信サービスはこちらよりご登録ください

<https://www.skyperfectjsat.space/ir/mail/>

IR、企業広報に関するプレスリリース及びイベント等を電子メールでお届けします

X



LinkedIn



YouTube

